

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 4 - 10

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		塵芥収集車購入事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	渡辺孝司		氏名	内藤肇昭	
事業の概要	老朽化が激しい塵芥収集車を、収集作業の安全性及び効率性の確保のため、車両更新を行った。 ・ロータリー式収集車(パッカー車) 1台(平成5年収集車)					全体計画 /単年度のみ (平成 21 年度 ~ 21 年度)	
						国・道支出金	11,000 千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	1,510 千円
	事業費計	12,510 千円					
実施方法	直営		民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)			登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~				
	基本施策	#	環境の保全				
	単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進				
	事務事業の種類		自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	0 千円	10,800 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	796 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	合計	千円	11,596 千円	千円	千円	千円	

554

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出するごみ。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	各家庭から排出されるごみの適切な収集運搬。	適正円滑なごみ収集の維持。	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみ収集処理業務を適正円滑に行う。	指標(指標計算式/解説)	
		更新車両の購入費	
		目標年度	平成21年度
		目標値	12,510 千円
		実績値	11,596 千円
達成度	92.7 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	町内の環境・公衆衛生の維持。	目標年度	
		目標値	
		実績値	
		達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
塵芥収集車の更新	ごみを収集するためには、定期的なごみ収集車の更新が必要であり、ごみ収集車の更新により、収集作業の安全性及び効率性が確保できる。		

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	ごみを収集するためには、定期的なごみ収集車の更新が必要であり、減価償却資産の耐用年数が4年の中、更新した車両は購入から16年目を迎えており必要性は大きいと思われる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	老朽化が激しい、塵芥車の更新により、収集作業の安全性及び効率性が確保された。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	安全性、機能性に優れた車両を選択するとともに、車両の買い替えは指名競争入札を行いコスト削減に努めた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

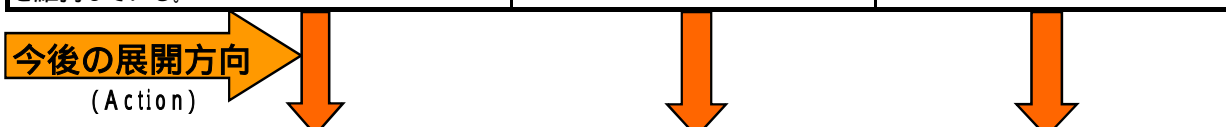
(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	家庭系ごみの収集運搬は、町内全域であり全町民がサービスを受するため公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
老朽化した塵芥収集車を更新したことにより、収集作業の安全性及び効率性が確保でき、各家庭から排出されるごみの適切な収集運搬を維持している。		



<b>終了</b>		
事業の目的が達成されたため。		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)